

2020.6.11(木)
第39例会
(通算 3592回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー

第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	ガバナー年度を振り返って (担当：理事会)
次週例会	一年間を振り返って (担当：理事会)

■ロータリーソング：「四つのテスト」

■ソングリーダー：市橋 多佳丞君

■会員数 100名

■ビジター なし

■ゲスト なし

■ニコニコ献金

天方 智順君・・・あと3週間よろしくお願ひいたします。

今年度累計 786,000円

会長の時間

天方 智順会長



皆さん、こんにちは。久しぶりの方もいらっしゃると思います。何となく非常事態宣言が解除されてから、ややしばらく経ちます。少しずつ少しずつ

日常が戻りつつあるかなと思いますが、収束にはまだ遠いようでございます。

先週、アベノマスクのお話をしました。わが家にやっと6月6日土曜日に届きました。市内にも格差があるので、どうしてうちの地区は遅いのかなど。たいして必要ないと言ったら怒られるかもしれませんが、今やマスクが結構手に入るようになりましたので、もし届いても使用するかどうか迷っていたのですが、いざ届かないと不安になるものでございます。不思議な人間心理でございます。

ひとつ、疑問に思っていることがあります。皆さんのご自宅に届いていて、皆さんの企業にも「2枚入り」が届いていると思います。うちの会社にも来ていました。私の母とは二世帯となり、同じ屋根の母の所がありますが、母は一昨年より介護施設に入所していません。そこに届いていません。なぜかなど。施設に届い

ているならいいかなと思いますが不思議でございます。各種郵便物、公共料金の案内、選挙のための投票用紙は届きます。でも、マスクは届きませんでした。どなたか教えて下さればと思います。

今日は『ガバナー年度振り返って』ということで今年度、皆さんで苦勞してやってきた吉田ガバナーを支える様々なことを思い出す例会になればと思います。クラブの会長としては帰港式というありがたい例会があるのですが、ガバナーには帰港式みたいなものはないのかなと思いますが、その一助になってくださればと思います。

ずっと言い忘れていました。会長になって、いつか言おうと思っていました。こういうことになって、今日、思い出しました。皆さん、誕生日のお花いっぱい当たりましたね。これは市橋委員長のおさまの手作りの花でございます。皆さん、市橋君に感謝をして拍手を申し上げてください。

今日、市橋君がソングリーダーだったわけではありません。今日もよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム■
ガバナー年度を振り返って

第2500地区ガバナー事務所
地区副幹事 樋口 貴広君

皆さん、こんにちは。ガバナー事務所・樋口君と呼ばれました、立場よく分かっていないのですが。本日は『ガバナー年度振り返って』とい



うことで松井幹事から丸投げされましたので、私の方で進めさせていただきます。

今日は、エレクト年度も含めましてご尽力いただいた方にスピーチいただく内容になっています。

その前に、私より今日に至るまでどのような道程だったかを説明させていただきます。

スタートが2016年12月10日に地区のガバナー指名委員会がありまして、2017-2018年度のガバナーノミニーに指名されました。翌2017年10月、網走地区大会におきまして地区の選挙管理委員会より「バナーノミニー選出」と報告を受けております。

2018年7月1日、ここでガバナーエレクトに就任しまして、翌2019年1月にはサンディエゴで行われた国際協議会に出席されております。2019年2月には地区チーム研修セミナー、4月にはP E T S地区研修協議会を開催し、2019年7月1日ガバナーに就任しております。

ガバナーに就任した翌週、7月10日からすぐに公式訪問がスタートしました。2019年10月11～12日には地区大会を開催いたしました。その後も国内では他地区の地区大会、またロータリー研究会とか、地区内では財団などの各種セミナー、また各委員会、各クラブの周年行事等、精力的に活動されておりました。が、2020年3月以降は新型コロナウイルスの影響によりまして、タイの地区大会、韓国の地区大会、地区内8つのI M、予定されておりました5つのクラブの周年行事、ロータリーアクトの地区大会、インターアクトの地区大会、そして皆さんすっかり忘れていたかもしれませんが、昨日くらいに帰国しているはずだったホノルルの世界大会、これが一部オンライン会議を除きすべて欠席、もしくは中止となっています。

次年度は副ガバナーとしまして、松田ガバナーを支え、ロータリーの友の第1ゾーン顧問に就任することに決まっております。

それではこの後はスピーチに移ります。はじめに、吉田ガバナー、次に地区研修委員長を務めていただきました小船井パストガバナー、その後は順にP E T S地区研修協議会の担当、公式訪問の担当、地区大会の担当、最後は時間が残るようでしたら木下地区幹事よりスピーチいただきます。

それでは、吉田ガバナーより、よろしく願いいたします。

吉田 潤司ガバナー



皆さん、改めてこんにちは。ガバナーと言われるのはあと20日間くらいしかないのです。いよいよその後は憧れのパストガバナーになり

ますので、少しホッとできると思います。

こうやって振り返ってみますと、2017年からずいぶん長いこといろいろやっていたなと思います。ガバナー年度のことしかあまり覚えていないですが、ガバナー年度やる前に三大行事のチーム研修セミナー、P E T S地区協などいろいろありまして、何か分からないうちに会員の皆さんが一生懸命企画してくれまして、素晴らしいものが本当に経験できました。それが終わりまして、ホッとする間もなく、公式訪問に出ました。私はコンセプトの大枠の話をしていましたが細かいことは何も言わない中で、会員のみんなが総力を込めてやっていただいて素晴らしい地区大会ができて、本当にホッとしております。そういう意味では幸せだったなと思います。

私の同期のガバナーには「地区大会が開けなかった」という人が何人もおります。やはり、一世一代の晴れ舞台、特に中央に行きますと宮様を呼んだり、京都では芸子さん呼んで、ガバナーとガバナーの夫人だけの会を開くなどいろいろな企画をしていたみたいですが、そういうのもすべて中止になりました。私がそこに行くのを楽しみにしていたのがなくなり、すごく残念だったなと思っております。

でも、私が残念だった以上に、何十倍も地区大会ができなかったガバナーのこと考えますと、私一人ががっかりするわけにはいかないと思います。

また、地区の中でも多くのガバナー補佐が本当に一生懸命企画していましたI Mがすべて中止になった。これも私も久しぶりに多くの分区を回りまして、みんなと旧交を温める機会を逃したのが残念でした。それ以上にガバナー補佐の皆さんは非常に残念だった、その気持ちも本当に察するところ余りあるという状況でした。

そういうことも含めまして、私は1年間ガバナーをやってきました、いろいろなことがありました。思い出に残ることはいくつかあります。その中のひとつが今日、皆さまにお渡ししました『4つのテストのカード』なのです。

この思いは、たしか今月の『月信』に書いてありますが、かいつまんで話しますと、ガバナーになる前、去年の6月にハンブルグに行ったのです。

ドイツの世界遺産の街を見に行くというツアーがあり

まして、私も行きました。それはそれは本当な綺麗な街で、私はこういう所に住んでみたいというリュウベックという街で、エルベ川沿いの素晴らしい街だったのです。そこに行きまして風光明媚、本当に気持ちいい所に行った時に、『月信』を読まれた方には同じこと話をします) ドイツはすごく遵法精神がものすごく旺盛な所なのです。「駐車しちゃダメだ」というと、見ていたら車を誰も止めていないのです。その観光地の通りも「少し車を降りて、写真を写したい」、そういう人は誰もいないのです。みんな車を停めていないのです。そこで私たちは少し離れた場所でバスを降りてそこに観光に行きました。

帰る時に雨が降ってきました。一緒にいた人は知らない人ばかりです。なかなか立派な多分地元に戻ったら名士ではないかなというロータリアンの人が「バスを呼べ」と始まったのです。「バスは入れられないですよ」と話をしたら、「いいから呼べ、来たら飛び乗りすればいいんだ」「おまわりが来る前に乗ればいいのだから、行け」と。それで大騒ぎになっちゃったのです。結局、「バスは駄目です」ということで入れなかったのです。

そういう事件がありまして私が道中、ずっと旅行している最中に仲良くなった日本から行った添乗員さんに「大変ですね」と言ったら、その後のこの言葉がすごくガッカリだったんですね。「いや、ロータリアンってこんなもんですよ」と言われたのです。これがすごくショックだったのです。私もその時に「そんなことしないで、駄目なものも駄目です」と言えなかった私もすごく残念だったなと思います。

それが終わって帰ってきまして、公式訪問に行きましたら、多くのクラブはみんな「4つのテスト」を一生懸命斉唱していました。やっぱり4つのテストというのは愛唱しているんだなと思いました。でも、その時に私自身はそうですが、普段も4つのテストはいつも頭の中にありますけど、何かあった時、腹が立った時、クレームがあった時に、そのことを忘れて文句を言うってしまうのです。「駄目じゃないかとか」「ああだ、こうだ」とか言っちゃうのです。私は特にせつかな人間ですから良くそういうことを言う。

これは工藤さんが一生懸命作ってくれまして、本当に素晴らしい『4つのテストのカード』ができました。それで私は、これをぜひ皆さまの胸のポケットに入れていただきまして、何かがあった時にちょっと触っていただいて、自分を戒めるように使っていただければと思います。

前にお話もしたことがあります。公式訪問に入る前にいろんな本を読んでいた時に、松下幸之助さん、出光佐三さん、この間亡くなった日野原さん、その他たくさんの方のロータリアン、熱心な人がいたのです。あの人たちは必ず朝、出かける前に、家を出る前にバッジ

を必ず手で触って「今日もロータリーらしく生きよう」と言っていたと言っていました。そういうことなのだと思います。私も少しくらい真似をしてやりたいなと思ったのです。そんなようなことがありましたので、皆さまにお贈りいたしました。ぜひ使っていただきたいです。

本当にいろんな意味でずいぶん皆さまにはたくさんお世話になりまして、何もお返しできません、ささやかな食事の券を贈りましたけど、私は韓国もタイも台湾もハワイも全部なくなりましたので、どうせであれば良いじゃないかということで、使わせてもらいましたので、ぜひ、皆さん楽しんでいただければと思います。本当に1年間ありがとうございました。7月からはパストガバナーになります。ごくごく普通になりますので、「よう！」と声をかけてください。どうもありがとうございました。

小船井 修一パストガバナー



それでは、原稿を用意しましたのでお話をさせていただきます。

ガバナー年度が後半はコロナ禍により活動が制限されましたが、P E T S

地区研修協議会、ガバナー公式訪問、そして最大の事業である地区大会などの主要事業を実施できたことは、地区大会や各種セミナーを中止に追い込まれた他の地区と比較すると充実した活動を果たしたと思います。

今年、吉田ガバナーはロータリーの変化への適応を決意いたしました。それは3年ごとに組織規程を改訂する規定審議会、毎年4回開催されるR I理事会決定などの国際ロータリーの様々な変更に伴う地区運営と地区委員会組織をアップデートすることを意味しています。ということは今までの地区運営、地区組織というのはアップデートされていなかったということです。これは余計な話です。

今まで4月下旬、5月初めにP E T S地区研修協議会を同時に開催していましたが、昨年3月にプレP E T Sの名目で地区研修委員会メンバーが分担して、分区分ごとに次年度会長・幹事懇談会を開催いただき、P E T Sで協議されるべき国際ロータリー会長テーマや吉田ガバナー方針などの次年度情報を提供し、次年度計画を策定するための協議をさせていただきました。

これは実質的にP E T Sと地区研修協議会を分離して開催したことと同じだったと思います。松田年度でも吉田年度での考え方を踏襲いただき、コロナ禍によって電子的な手段によるP E T Sを開催し、4月19日

に同じく電子的手段による地区研修協議会、そして分科会を開催しました。今後、漆崎年度以降も吉田年度方式でのPETSと地区研修協議会を分離して開催されるのが定着することになると思います。

そして、地区大会でも青田実行委員長の決断により、一般会員が地区大会2日目午後から参加することに変更することにより、多くのメンバーが日帰りで参加することが可能になりました。これも大きなことだと思います。国内、特に首都圏を含めた地区では日帰りで、1日で開催しているのが主流になっているという意味においてです。次に、地区委員会組織のアップデートですが、R L I 導入準備委員会、地区常設事務所設置への取り組みは私の担当外ですので、担当させていただいた二つの新設委員会、地区研修委員会と地区規則手続き委員会について報告させていただきます。

この二つの委員会はロータリー章典の地区運営に関する17の0302、地区委員会の内容に準拠するために新設されました。地区研修委員会は従来、研修リーダーを1人だけ指名していたものを、地区研修委員会を新設し地区研修委員長と地区研修リーダーを兼任として、最新のパストガバナー、エレクト、ノミニ、そして国際ロータリー研修リーダー経験者を加えた地区研修委員会を構成しました。規則手続き委員会は先週の夜のクラブ協議会でご審議いただいたガバナー指名委員会の地区規定案は地区規則手続き委員会が上程し、諮問委員会をとおしてクラブへの郵便投票になった事案であります。これは毎回のガバナー指名の考え方が指名委員長の判断に任せられる方法からロータリー章典17の0402、任意の持ち回りシステムを地区システムの導入をすることにより、円滑・平和的ガバナー指名にするためでありました。この円滑、平和的ということは、今まで円滑ではなく非平和的であったという事実があったがゆえに、こういうものを出したことは付言させていただきます。この公式の文章には書いてありません。いろんな意味でロータリーは紛争の場ではなく、ある意味では紳士的な場の中で円滑に運営することが前提になっています。そういう意味でこの地区規則に関しては皆さんご理解いただいたことを感謝申し上げます。私の1年間、本当に吉田ガバナーの年度の中で自分なりに支えることができたか、できないか分かりませんが、終えることでホッとしています。どうもありがとうございました。

石田 博司 PETS 実行委員長

もう1年前ですが大変お世話になりました。PETSを担当したチームでございます。紹介しがてら1年前を振り返りたいと思います。まず、副実行委員長の吉田秀俊君です。この風貌と押し出しですから「どっちが実行委員長なのだ」と陰で言われましたけど毎度、毎度、彼はそばにいて私の劣



等感を痛く刺激する男でありました。次に副幹事の二人です。村上君と後藤君ですけれども、デスク、現場という役割分担がありました。

あの時に皆さんにお世話になったのですが、特に親睦委員会は柿田君が委員長で、毎度そうなのですが特にあの時には出先の転勤族の方がとても多くて、陰で私は外人部隊と呼んでいましたけれど非常な活躍をしていただきました。その外人部隊、1部上場の支店長、支社長、社員数1社当たり何万人という所の皆さんをあごでコキ使っていたのが後藤公貴君でありました。もうやりたい放題でしたね。

それをすべて仕切っていたのが幹事の邵龍珍君でした。もうすべてを牛耳っておりまして、特に最後のパネルディスカッションの時には彼はコーディネーターをしたのですが、もうやりたい放題ですから、誰がパネリストで、誰がコーディネーターか分からない。自分でコーディネートしておいて自分で喋っている。もうガバナーもパストガバナーもみんな青くなっていたけれど、大活躍の邵龍珍でした。

あれが終わってから私は密かに日本一とは言いませんが「北海道一 元気な在日」という称号を贈っております。以上で振り返りました。

では、一言ずつ挨拶をさせます。

吉田 秀俊 PETS 副実行委員長

皆さん、こんにちは。あまり印象に残っていないと思いますけど副委員長を務めさせていただきました吉田です。頼りがいのある石田委員長と邵幹事を筆頭とする幹事郡がいろんなことを卒なくやってくれましたので何も心配もなく終えることができました。



私自身、副委員長の立場でやったことは唯一で、記念講演で丸谷智保さんの講師紹介を請け負ったのですが、講師紹介の途中で間ができて一部の方に心配かけましたことをお詫び申し上げます。

全体として非常に中身の濃いPETS地区研修協議会ではなかったと思います。これはもうひとえに皆さんのご協力の賜物だと思っております。1年以上経ちましたけれど、この場を借りましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

邵 龍珍 PETS 実行委員会幹事

実行幹事を務めさせていただきました邵でございます。石田実行委員長も仰っていましたけど、終わって



から何人もの方に「お前、喋りすぎや！」とめっちゃ怒られました。いい記憶になったかなと思っています。

また、皆さんのご協力のもとで成功裏に終わったのは、その証は、ガバナー事務局にある大きな写真ですね。あれは、本当にやり切った感のある皆さんの笑顔なのです。それがやっぱり皆さんのパワーで成功裏に終わったという証だったと思います。本当にご協力ありがとうございました。

今後もクラブのために、また次年度は石田ガバナー補佐の活動もあります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

村上 祐二 PETS 実行委員会副幹事

村上です。先ほど後藤さんが食事をとる直前に「PETSのことを話さない」とおっしゃるのです。私は12時前から来ていたから、もっと早く言ってくればいいのにと感じていました。



それで慌ててPETSのこと思い出していたのですが、いまいち思い出せなくて、「わかった！思い出した！国際交流センターで炉端焼きやって、すぐ売れたやつでしょ」と言ったら、テーブルの人たちが「それは地区大会じゃねえか」と。「あれ？違うな」と一生懸命思い出していたのですが、どうも断片的なのです。

それで思い出したのが当時、私は会社ですごく大変なことになっていて、勤続35年の方、25年の方、17年の方に立て続けに退社していただいたという状況でした。それから求人も自分自身でやり直して、おかげさまで述べ15人くらい社員がそれから増えて、今こうやってロータリークラブに出られたのですが、そんなことがあって当時は出られなかったのです。そんな言い訳をさせていただいて終わりたいと思います。ありがとうございました。

後藤 公貴 PETS 実行委員会副幹事



実行委員長のおっしゃるとおり、好き放題やらせていただきました。私の物言い等々で大変不快な思いをされた方につきましては、この場をお

借りしまして、心からお詫び申し上げたいと思います。当時、某大手電力会社の前馬場支店長に店の電気を止められそうになりながら、その後、関係を修復して今は仲良くやらせていただいているのですが、本当にPETSがあって、その中で皆さんの団結があって、地区大会が大成功に終わって、そして今、こうしてコロナ禍の中でも多くの皆さんが例会にきていただける。まさにワンチームになった思いをしております。今後も私は少しおとなしくしますので、ぜひ引き続き仲間として仲間に入れていただければなと思っています。本当に心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

中島 徳政副幹事

私のような大したこのどのない者が出てきました。これも五明さんから「公式訪問について2～3分語ってくれ」と1カ月前に丸投げのお電話をいただいただけで来てしまったので、あまり準備もしておりません。



丸1年前、7月にガバナー年度が始まってすぐ、7月10日から10月3日までの3カ月弱、皆さんに本当にお世話になりました。8つの分区、全67クラブを朝例会1回、昼例会の38回、夜例会が28回ということ、32泊、延べ人数98名の皆さまにご協力をいただいて何とか終了することができております。先ほど、クラブの会報で半年くらい前の公式訪問を見ましたら、ガバナーが最後の2日くらい体調が悪くなったけれども、一度も雨の降ることもなく、傘を差すこともなく終了したという報告が書いてありました。そうだったなとその時を思い出しております。お忙しい皆さんには勝手に決めたスケジュールに時間を合わせていただきまして、公式訪問のグッズを受け渡し、車の手配、車両を出していただき、それから各例会では写真撮りとか、相手クラブの皆さまにご配慮いただきまして、大変ご迷惑をおかけしておりました。本当にありがとうございました。私が感じたところは、僕はあまり他にメイクアップにも行かない、経験歴のない

ロータリアンなのですが、ラジオ体操やっているクラブがあったり、市の決まりを皆さんで唱えている所があったり、いろんな会があるのだなというのを体験させていただきました。

私が最初に随行に行ったのは、小野寺君と一緒に枝幸、美深、侍士別、紋別と行かせていただいたのですが、小野寺君の車でなんと移動中に「ちょっと時間があるので」ということで吉田ガバナーと30分くらいトロッコに乗る経験ですとか、S Lの除雪車で機関車が2つと除雪車がくっついている4両編成の珍しいのを見せていただきました。そんなことをして楽しんだのですが、山の中に行ったらダム事務所にいきなり止めて、「ダムカードをもらえるよ」と言って、ダムカードもらって来たり、大変楽しく遊んで来た思いも多少ありますが、そのようなことをやってまいりました。

最後になりますがご協力いただいた皆さまに本当に感謝申し上げますとともに吉田ガバナーの体力・気力が本当に素晴らしいと思いました。そういうのに触れさせていただいたことに感謝をしております。高いところからではございますが、吉田ガバナーにはいろいろ配慮もしていただきまして誠にありがとうございました。皆さま、大変お疲れ様でした。

青田 敏治地区大会実行委員長



ちょうど3カ月半ぶりに出てきました。ゴルフ場ではいろいろ会っている顔もあります。先ほどは「だいたい人が出てきている」というような話をしていました。ゴルフ場もおかげさまで「7日の日曜日は300人を超えた」とこんな嬉しいことはありませんので、例会には来られなかったですが、ゴルフ場では頑張っております。地区大会ですが、おかげさまで開催できたので一安心です。ガバナーもおっしゃっていましたが、下期に開催する所が非常に多いということでそれは大変良かったと思います。また、本会議も前例にとらわれない方法で開催して、私がこだわっていた大懇親会をイス席にするのも、これも見事に市橋委員長が収めてくれまして大変嬉しく思います。今後、ガバナーを出すときのために何か残すことないかということで言いますと、地区大会を各部会があつてまとめていくのですが、それぞれに頭になる者がいてバラバラにやっている。今回の場合は西村幹事から流れて行くような、必ずそこを通して物事を進めるような仕組みになっていけば、もっとスムーズにいったかなど。これは今後、ここにも出る候補がたくさんいるわけですから、それを参考にしてもらえれば

と思います。

あと、記念講演に来た尾身茂先生、今は忙しくて、よく来られたなと思います。吉田ガバナーの娘さんも大変親しくして、楽屋裏にいた時にいろいろな話の中で非常に褒めているのです。「もう少し将来を見据えて、世界に出た方がいい。それくらい優秀だ」ということなので、そう行ってくれればと思います。テレビのコメンテーターで2日間出ていましたけれど、感染症の関係をしっかりした話し方で、立派なものだと思って見ていました。そんなことで、西村幹事に本当に世話になりっぱなしで、この場を借りて改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

木下 正明地区幹事



少し時間がありますのでお話をさせていただきます。本当に皆さんご協力をいただいたおかげで、吉田潤司を男にさせていただきました。あと、20

日余りですかね。実は今週の土曜日に米山委員会がありまして、そこで波乱がなければ無事につつがなく終わるという形になっております。

小船井パストガバナーからお話がありました。いろいろなことを地区で少しおかしいこと、こうしたらいいということ、皆さんが思っていること、を全部実現できたのかと思っております。本当に労力はかかったのですが、いい形で地区を一旦変えさせていただいたと思っております。会計についても、明明白白にどうか綺麗な形で外に出せるようにして終了させていただきたいと思います。これはひとえに皆さんにご協力いただいて、アイデアを出していただいて、粘り強くすべての行事を新しい形、考えた形でやって行ったおかげだと本当に思っております。その成果が出ております。吉田ガバナーを20年ぶりに輩出したのですが、この後、この地区で一番大きなロータリークラブですから、定期的に釧路ロータリークラブがリーダーシップをとるようにして、ガバナーを輩出できるようにその先鞭を吉田ガバナーがつけていただいたと思います。当に公式訪問で大変たくさんあったと思います。その中で体調を何とか整えて切り抜けていただいたことに感謝をして、また清水・小船井パストガバナーのこれまでの思いに応えられたことが一番うれしいと思っています。本当に皆さん、ありがとうございました。以上でございます。

Return
to
Top

Return
to
Web Site